



スマート製造とデータ標準化が拓く金型業界の未来

1. 国際標準の主導 ISO/TC184



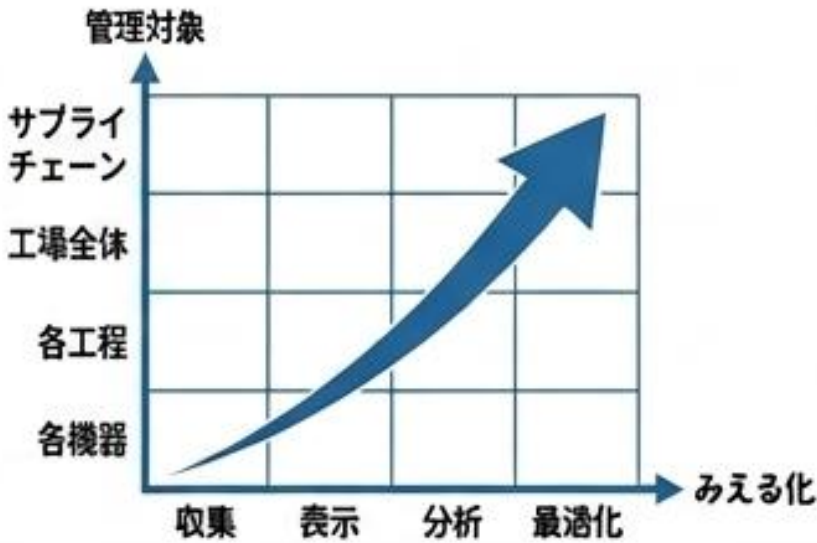
ルールフォロワーからルールメイカーへ

MSTCがスマート製造の核心「ISO/TC184」の国内審議団体を担当

日本のFA・産業オートメーション技術を世界規格として提案

ユーザー企業の意見を集約し、数年単位でグローバルな製造ルールを構築

2. 現在地と目標の可視化 SMKL



共通の物差しでDXのPDCAを回す

「SMKL (Smart Manufacturing Kaizen Level)」を活用し、自社のスマート化レベルを客観的に評価

競合比較や経営層への説明を容易にし、目標達成への具体的な進捗を立てる

3. サプライチェーンの強靱化 データ標準化



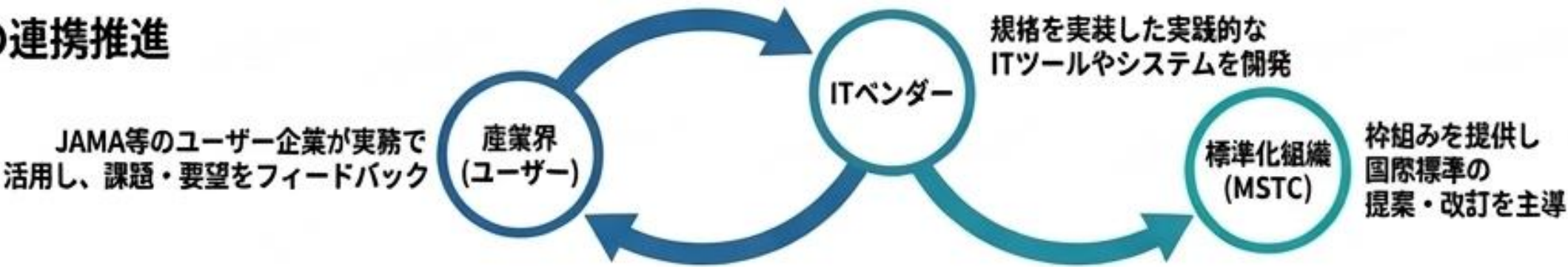
企業間をつなぐ「共通言語」の確立

EUROMAP：射出成形機などの軌跡データの国際標準

OPC UA：機器・システム間のデータ通信規格

標準化の活用により、中小企業でもグローバルサプライチェーンへシームレスに接続し、災害時のレジリエンスを確保

4. 三位一体の連携推進



実務に即した生きた国際標準
を生み出すエコシステム